

寺報 善 巧

発行
☎ 938-0862 富 山 県
下新川郡宇奈月町浦山497
白 雪 山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール yukinko@nightland.net.

七月十六〜十九日
し どう き よ う
永代祠堂会
布教 高務 哲量先生

寺
こよみ

七 月

一日 音沢お講(四)
九日 清掃奉仕
一五日 仏婦祠堂会準備

永代祠堂会

一六日 中陣お講
仏教婦人会
一七日 総代物故者法要
寺族物故者法要
お初夜
一八日 戦没者追弔法要
お満座
一九日 内陣法名法要
布教 福井千福寺
高務哲量師

一八日 連続研修



内陣法名前でのお焼香

最近、大平光代さんの「だからあなたも生き抜いて」という本を読みました。

著者は中学二年の時に、いじめを苦にして自殺を図り、その後、非行に走って、十六歳の時には極道の妻となり、背中に刺青を入れてまで、その世界で生きていくとします。しかし、結局そこでも自分の生きる場が見つからず、離婚してスナックで勤めることになりました。

どん底まで落ちた彼女の人生に光が差すときがやって来ました。それは、後に養父となる大平浩三郎さんとの出会いでした。それから彼女の努力は並大抵のものではありません。なにしろ、中卒の身ながら司法試験に一発合格という快挙をやったのけるのですから。

しかし、その努力は、どんな時でも優しく包んでくれたお祖母ちゃん、それから大平さんはじめ、たくさんの人たちの温かい心に支

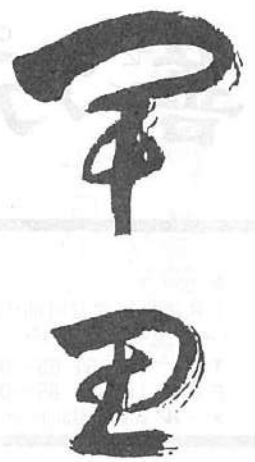
必ず煩惱の氷とけ

と親鸞聖人は『高僧和讃』に示されています。温かい心が通わなければ、人の心は凍ってしまいます。しかし、凍った心が溶けさえすれば、素晴らしい悟りの水となることを見抜かれた阿弥陀さまは、私たちをお慈悲の心で温かく包んでくださるのです。

人は皆、お慈悲の温もりに触れた時、どんな状況の中でも、喜びと感謝の心を持ちながら、力強く生き抜いていくことができるということを、大平さんの本を読みながら、深く心にかみしめさせてもらいました。

行信教教授 浄光寺住職

藤澤 信照 師



すべてが「宿縁」

行信教授 定専坊住職

山本攝叡(攝)先生

(「一味」夏の号六八〇より)



学生時代、少し関わりのあったサークルの合宿で、信州の白馬を訪れたことがあります。八月の、初旬のことだったでしょうか。

その頃は、意識的に、あるいはむしろ反発心から、

仏教や真宗の教義とは関わりのない、文学や思想、哲学の書物ばかり読んでいました。

都合で、皆と一緒にいくことが出来なくなった私は、夜行列車で後を追いかけることにしました。もちろん、寝台車ではなく、普通の、固い、ほとんど直角に座席がしつらえられた、飾り気のない客室の片隅に乗り込んでの、一人旅です。

気分が高揚していたせいか、眠れないまま、ずっと



本を読んでいた。ちょうどロシア文学に凝っていた、その時読んだのは、たしかツルゲーネフの「父と子」だったと思います。

まだ夜が明ける前、列車が乗り換え予定の松本駅に着いたのは、その本を読み終えてまもなくでした。暗いホームに降り立って、次の列車までかなり時間があるので、私は一人、街を歩いてみることにしました。

夜明け前の見知らぬ街を、方向も決めず、何を考える

妙好人・オ一同行の銅像



ということもなく、長旅と読書で疲れた身心を癒すように、ゆつくりと歩みを運んでいる時間は、この上もなく充実したものでした。

学生時代の、思いでの一コマです。

* * *

私は「宿縁」というのは、必ずしも仏教に関わりのあるものだけとは考えません。また親鸞聖人が言われた「よろこび」も、仏縁を結んでくれた過去の出来事だけを喜んだり、お浄土に生まれるであろうことをよろこんだりするとは、少し違うような気がします。

私たちは、理論的に考えられたものをよろこぶことはできない、あくまで、今、この私の上に起こってくる

感情の働きでなければ、本当のよろこびとは呼べないでしょう。

「わたしやあなたに

目の玉もろて

あなたみたるたま

なむあみだぶつ」

オ一同行にこんな詩があります。「なむあみだぶつ」の目をもらい、あらゆることを「なむあみだぶつ」を通して見る世界。ここには、人生観の根本的な転換があります。

そうして、迷いのさ中にあるままの私が「なむあみだぶつ」のまっただ中に生かされてあったというよろこび、過去の出来事のあらゆることを、もう一度「なむあみだぶつ」を通して見ることによって、そのすべての意味が転じられていく世界。

いま私は、さまざまの思い出のすべてが、この私を育てて下さってあった「宿縁」と、味わるような気がするのです。

専精舎とご本山参拝

5/25
〜
27

第百五回専精舎夏講四日
目の午後、常見寺にかけつ

け、相馬先生そして梯先生
のご法話をお聞かせいただ



きました。翌日は梯先生の
本講、高田慈昭先生の副講
そして会話を聞いて、午後
の騰瑞夢先生、利井明弘校
長のご法話とお聴聞三昧、

何とも有り難いご縁でした。
今回の参加同行は、野畑
一雄・藤澤潔・本波秀夫・
谷川正明・八木秀雄・高島
有哲・康彦・佐々木今子・

野島愛子・大藪節子・神子
久美さん達でした。
今年ご縁のなかった方は、
来年是非ご一緒しましょう。



行信教校 校長先生と

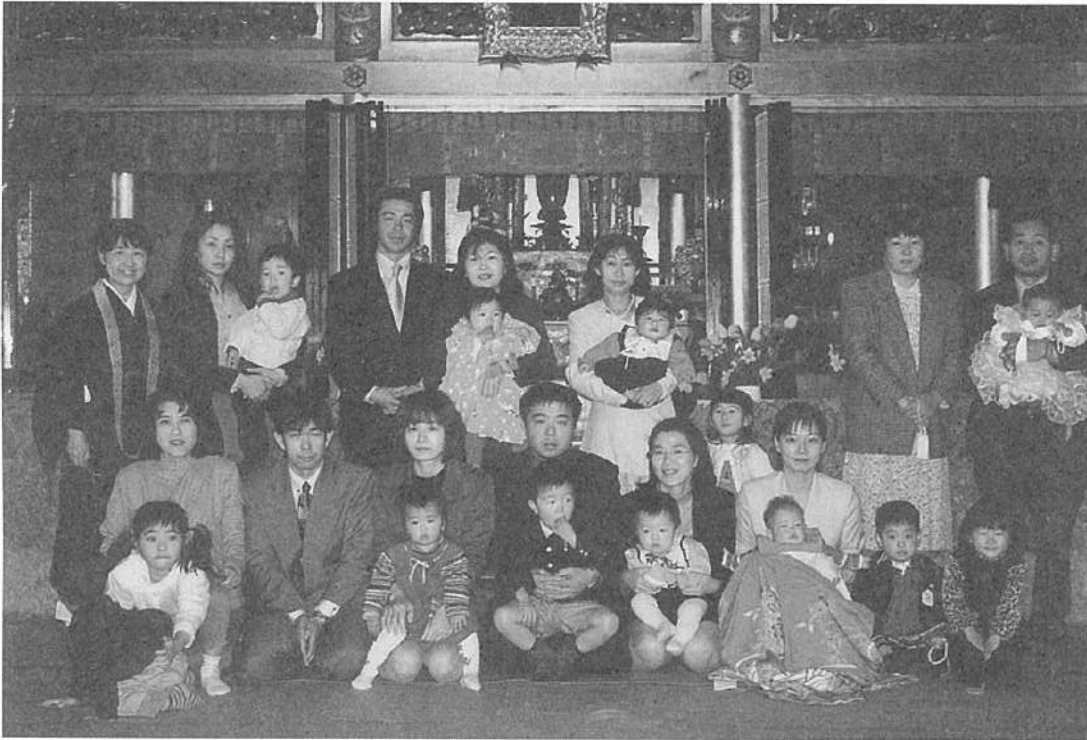


聡子坊守、晃子前坊守、照護くんと

花の中の初まいり

4/23

今年もチューリップの花
の中で赤ちゃん達が仏様に
ごあいさつ。お寺の学校の
生徒達や寿楽苑の方々等々
みんなからお祝いしてもら
いました。今年のお参り最
高年齢は何と百四歳。みん
な生まれてよかったね。



山本敦史ちゃん



新保友唯ちゃん



川瀬莉子ちゃん



河村いつきちゃん



野崎日奈代ちゃん



二口絵美奈・裕哉ちゃん



八木美羽ちゃん

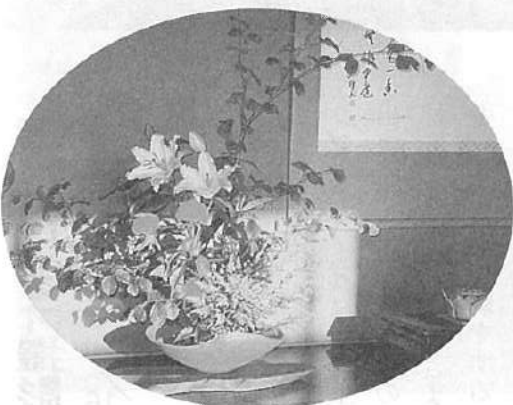


富樫明寛ちゃん

野休み落語会

6/13

第二十三回の落語会。今年も大盛況でした。小三治さんが第一声「今年も元気で会えて良かったね」ほんとの二十三年、お仲間では田中静治さんとわかはん（隆弘）が、ゲストでは内海好江さんがお浄土です。こうして生きて喜べるのもめったにないご縁です。



太子会

4/13

聖徳太子をおしのびして
のご法要太子会が今年も営
まれました。その後のお楽
しみは例年お花見なのです
が、今年は三月の雪のため
花が遅く、桜はどこも蕾の

まま。そこで趣向を変えて
入善の「椿まつり」に行き
ました。柚木春雄夫人に太
歓迎していただいて、皆大
感激でした。



柚木元入善町長さんの椿庵で



雪ん子ビデオ撮影

5/16

民教協、関東・中部・関
西地区研究協議会「こころ
豊かに・二十一世紀へ」の
シンポジウムに女先生が
出演するため、KNBの取
材班が雪ん子劇団にきまし
た。「みんなで劇をするの
はおもしろい」「今練習し
ている出し物を早く仕上げ
たい」など元氣な声はす
ませていました。

六月十日のシンポジウ
ムには、俳優の米倉育年
氏、映画監督の本木克英氏、
デザイナー「このゆびとー
まれ」の惣万佳代子さん達
と「生きるしあわせ」につ
いて話し合いました。



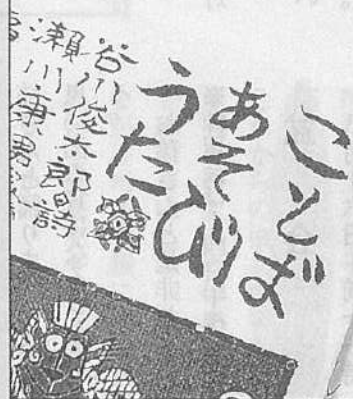
心と心をつなぐ、
ことばの教室。

雪山玲子さん



「あしたの、あした人。」
宇奈月町町勢要覧

亡き主人と二人で始めたお寺の日曜学校。そこから生まれた「ことばの教室」は、「雪の寺劇団」として、「みんなが主役」であり、相手思いやる気持ちで育てる「心の教室」でもある。1年生から6年生の子どもたちは毎週放課後、お寺の境内に集合する。イチヨウの大きな木の下、手をのびのびと集まる。ここがウキウキアンプ「相手の温もりを感じて、ちよとでも人のことを考えられるように」と始めた。学年が違っても子供たちも、ここでは一緒に遊び、演技の基礎を学ぶ。大きな声で発声練習をし、稽古で飛び跳ねるその姿は、元気そのものだ。「人ひとりが上でも素晴らしいものを持っています。大きな声で感情を解放して、自分を表現してほしい。そしてキラキラ輝いてくれたら」と願う。20年間の活動を通して、200人以上の子どもたちが巣立っていった。今も、年間10回以上出る県内外での公演活動などを続ける。たくさんの人と出会い、その温もりを育てられていく子どもたち。人ひとりが輝やくようにと、雪山さんは願っている。



お寺の日曜学校
から生まれた
「ことばの教室」
は、「雪の寺劇団」として
「みんなが主役」であり
相手思いやる気持ちで
育てる「心の教室」
でもある。1年生から
6年生の子どもたちは
毎週放課後、お寺の
境内に集合する。
イチヨウの大きな
木の下、手をのびのび
と集まる。ここが
ウキウキアンプ
「相手の温もりを
感じて、ちよとでも
人のことを考え
られるように」と
始めた。学年が
違っても子供たち
も、ここでは一緒
に遊び、演技の
基礎を学ぶ。大
きな声で発声
練習をし、稽古
で飛び跳ねる
その姿は、元
気そのものだ。
「人ひとりが
上でも素晴らしい
ものを持ってい
ます。大きな
声で感情を解
放して、自分
を表現してほ
しい。そして
キラキラ輝い
てくれたら」と
願う。20年
間の活動を通
して、200以
上の子ども
たちが巣立
っていった。
今も、年間
10回以上
出る県内外
での公演活
動などを続
ける。た
くさん
の人と
出会い、
その温
もりを
育て
られ
てい
くこ
ども
たち。
人ひ
とが
輝い
くよ
うに
と、
雪
山
さ
ん
は
願
っ
て
い
る。

マシ

寺
こよみ

八月

遠きより

友集い来て

夏の宿

再会の

宴華やぎて

風薫る

喜子

寺
こよみ

九月

五日 花の会

一七日 お経会 釈隆弘お祥月

一九日 連続研修

二二日 雪ん子劇団夏の公演

大銀杏の木の下で

二二日 雪ん子劇団合宿

一七日 音沢本山助成会

一六日 盆会

一四日 盆踊り練習会

一五五 盆会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

一四日 盆踊り練習会

永代祠堂会

七月十六、十九日

永代祠堂会は門徒の皆さんのご先祖のご法事です。必ずお参り下さい。

十六日十一時 お講

一時 仏教婦人会

十七日 一時 総代・寺族物故者

追弔法要

七時半 お初夜

十八日 一時 戦没者追弔法要

十九日 一時 内陣法名法要



講師

高務哲量先生

●おとぎの用意をしております。

清掃奉仕お願い

七月九日午前八時半

(雨天順延)

祠堂会お待ち受けのお掃除です。どなたもご協力よろしくお願いいたします。

善巧寺仏教婦人会

七月十六日一時

新・旧役員の方は、献灯献花をします。

会費をまだ納めていない方は、この日にお納め下さい。

青年盆会

八月十三日午後六時半

青少年の育成が云々されている昨今、青少年がお寺という場所で楽しく過ごすことは良いご縁です。

こども盆踊り

八月十五日午後六時半

町の年中行事になって、二十数年。ゆかた姿の子供たちがはつぴのお兄さんお姉さんと踊ります。楽しい思い出の宵になることでしょう。

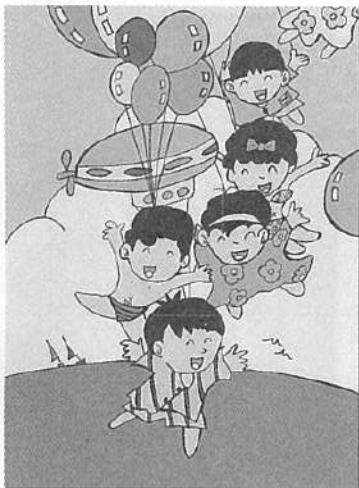
お孫さんとは是非どうぞ。※練習会は十四日午後七時半

盆会

八月十六日午前十一時

下村の総代さんの提案で始まった、盆会のお勤め。お盆まいりはどうぞこの時間にお越し下さい。お昼過ぎに終わります。

雪ん子劇団 下関公演



雪ん子劇団公演

雪ん子劇団公演

期 日 2000年 8 月 6 日 (日) 午後 1 時開演
会 場 海浜メッセ下関 イベントホール
入場料 一般500円、小学生・中学生1,000円、大人1,500円
(全席指定、小・中学生は保護者同伴)

主催 ヒーロー山口
後援 浄土真宗本願寺派
山口教区新運動推進委員会

合 掌

境内のあじさいの花が咲き始めました。季節が来ると咲いてくれる花々に感動します。もう絶えたと思っていたバラが、たった一輪ひっそりと小さな赤い花を咲かせました。母の日に娘が植えてくれた花です。

◆ ◆ ◆
安泰です、ねと言われる善巧寺ですが、今年は寂しい年になりました。長男長女は関西、次男は治療中。一時は七人で賑やかでしたが、今は食事も前坊守と坊守の二人だけ、寂しい限りです。人生何が起るかわかりません。寂しがったり嬉しがったり、喜んだり悲しんだり、まさに六道を経、めぐり続ける私たちです。
こんな時こそお聴聞して心豊かに、門徒の皆さんとお寺を守っていきましょう。

